

水辺にはいろいろな種類の生物がすんでいます。

湧水地にはホトケドジョウやサワガニが、川ではシマトビケラやコカゲロウなどの水生昆虫が多く見られ、またそれを食べるたくさんの種類の魚が生活しています。そして河口の干潟や人工海浜では貝や様々なカニが見られます。

このように水辺の環境とその場所にすんでいる生物には密接な関係があります。

また、水辺にすむ生物を観察することで水辺の環境を調べられることもできます。この冊子は川崎市内の水生生物調査結果(2012年度～2017年度)をもとに、すんでいる生物やその調べ方を紹介したものです。



Colors, Future!

川崎市

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

発行:川崎市

編集:川崎市環境総合研究所

発行年月:2019年 3月 第7版

〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-13
川崎生命科学・環境研究センター(LiSE) 3階
TEL:044-276-9001 FAX:044-288-3156
e-mail:30sojig@city.kawasaki.jp

表紙写真(左上から右下)

初山水路、モクスガニ、アシハラガニ、スミウキゴリ、一本坊橋、アユ、ダイサギ、オイカワ、アサリ、テナガエビ、北村橋、ドジョウ、ドジョウ(ヒゲ)、トビハゼ、ユリカモメ

裏表紙写真(上から)

イソガニ、上河原親水施設、フレリトゲアメフラシ、カワトンボの仲間、イシガレイ

